

【情報公開文書】

2023年1月26日作成

Ver.2.0

研究課題名	日本腎生検レジストリーを利用したわが国における巣状分節性糸球体硬化症の variant の予後についての二次調査
所属（診療科等）	長崎大学病院 腎臓内科
研究責任者（職名）	西野 友哉（教授）
共同研究機関	国立病院機構千葉東病院腎臓内科（代表施設） 氏名：今澤 俊之 データは代表施設のみに送付され、他の共同機関では使用されません。本研究の共同研究機関をお知りになりたい場合は下記のお問い合わせ先までご連絡ください。
研究期間	2019年1月22日～2025年12月31日
研究目的と意義	巣状分節性糸球体硬化症（FSGS）はしばしばステロイド抵抗性の経過をとります。発症要因や病態は様々であり、病理学的に5つの variant（亜型）に分類されていますが、日本国内で臨床的特性や予後を検討した研究は多くありません。日本腎臓学会によって構築された「日本腎生検レジストリー（JRBR）」のデータを利用した二次研究として、わが国の巣状分節性糸球体硬化症（FSGS）の variant（亜型）についての調査を行い、variant の違いによる臨床的特徴と腎予後を明らかにします。
研究内容	<p>●対象となる患者さん 2010年1月1日より2013年12月31日までに長崎大学病院で巣状分節性糸球体硬化症（FSGS）と診断され、「腎生検レジストリー（JRBR）」の登録の際に同意を得られた方。</p> <p>●利用する情報／試料 診断名、年齢、性別、検査結果（血液検査、尿検査、腎生検）など 本研究で利用する情報について詳細をお知りになりたい場合は下記のお問い合わせ先までご連絡ください。</p> <p>●研究方法 この研究は、厚生労働省が示した「臨床研究に関する倫理指針」を守り、倫理委員会の承認のうえ実施されます。これまでの診療でカルテに記録されている血液検査や尿検査結果などのデータを収集して行う研究です。</p>
問い合わせ先	<p>【研究担当者】 氏名：鳥越 健太（医師） 長崎大学病院 腎臓内科 住所：長崎市坂本1丁目7番1号 電話：095（819）7282 FAX 095（849）7285</p> <p>【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616 受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）</p>